



2025年11月 8日
第065号

JR東労組 Yokohama



JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集情宣担当
ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



横地申
第2号

「JR東労組横浜地本第30回定期大会」 発言に基づく申し入れ 団体交渉を行う！③

9. 南武線において今春のダイヤ改正以降、慢性的に駅ホームの混雑と遅延が発生しているが原因について示すこと。また、列車ダイヤに余裕がないため、遅延回復も困難であることから、ダイヤの設定を見直すこと。

【会社回答】踏切支障や落とし物拾得対応に加え、ドアが開扉するまでの所要時間、発車メロディの音量、混雑率の上昇など、様々な要因により、列車の遅延が発生している。なお、列車ダイヤについては、ダイヤの一部見直しを検討しているところである。

組合	会社
現時点で、次のダイヤ改正に向けてどういった部分のダイヤを見直していくのか、考え方を示すこと。	8月8日のプレス発表と「社員のみなさんへ」でも示してきた。ダイヤ改正後については、会社が責任を持って検証していく。
回答のような対策を行い、効果は出ているのか示すこと。	ダイヤを変更することなく、ワンマン運転開始前のレベルまでに遅れが減少してきた。
いくつかの対応策をやったことで、ワンマン運転開始前のレベルまで遅れが戻ったということだが、依然として遅れが残っている。この部分については引き続き対策をしていくという認識でよいか。	<u>色々な要因が見えてきたので、打てるところに対策を打っていく。</u> 確認！
ワンマン施策実施にあたり、安全第一に、安定性・利便性・快適性・異常時対応等の輸送品質・サービス品質の向上を目指すということによいか。	<u>その通りである。</u> 確認！

10. 乗務員による疲労と眠気による事象が多く発生している。行路あたりの業務量の増加や、乗務員から駅への融合に伴う乗務員の不足が背景にあるため、休日出勤の抑制と、ゆとりある睡眠時間の確保を行うこと。

【会社回答】業務運営上必要な要員は配置している。なお、行路については乗務割交番作成規程に基づき作成している。

組合	会社
休日出勤が発生しない勤務発表がベストか。	<u>その通り。引き続き勉強しながら勤務作成を行っていく。</u>
勤務作成者の苦労を会社はどう捉えているのか。	<u>作業者の工夫次第と捉えている。</u>
乗務員は休日出勤ありきになっていて、休日出勤の人がいない日がほぼない職場もある。こういった状況からして、必要な要員が配置されていると感じないが、認識はどうか。	<u>法令を犯さない範囲で、しっかり勤務を作つて事業を運営していくのであれば「必要な要員を配置している」という回答になる。</u>
乗務員区でいえば、誰かしらが乗務できて電車が止まらなければよいということなのか。	<u>法令を犯していない、という点で言うとそのようになる。</u> 注目！
休日出勤が続き、疲労が蓄積された状態で次の仕事に就かなければならない。これが、疲労と眠気の因果関係になるのではないか。	<u>睡眠につながる一つの要素としては理解するが、業務中に眠くなるというのは認識が違う。仕事中は本来忙しくて眠気は生じない。「忙しい」と「眠気」は会社としては直接結びつかないという考えである。</u>
動き続ければそうかもしれないが、乗務員は運転台に縛られて思うように動けない。その条件下による眠気については、疲労の蓄積がどうしても関係する。	<u>指差喚呼など、やるべきことをやっていただいている。 そこで眠気が生じることはない。</u> 注目！

業務中は絶対眠くならないということか！？これでは議論が噛み合わない！



11. グループ会社に出向し、専ら事務業務に従事している組合員・社員に対し、今後も知識と技術を活かして働く場を、JRの責任において確保すること。

【会社回答】社員の運用については「任用の基準」に基づき取り扱うこととなる。

組合	会社
本人の希望と出向先会社の意思、JR本体としての3者の意思が一致すれば、出向期間を延長することもできるという認識でよいか。	ゼロではない。まず社員と話すのが大事。様々なコミュニケーションがある。総合的に勘案していく。
丁寧な面談を行い、社員本人の事情や希望に配慮していただきたい。	面談のみならず、丁寧なコミュニケーションを引き続きしていく。 確認！

次号④へ続く